

■ 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」に関する主な修正事項一覧（令和6年12月26日時点）

資料8

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）
全資料共通			最新のデータに更新		
全資料共通			誤字・脱字の修正		
全資料共通			表現修正，不要な表現を削除		
全資料共共通			注釈を修正		
本編	1	P1	本市では，これらの社会情勢の大きな変化と学校を取り巻く現状を踏まえ，市立小学校，中学校，高等学校で育つ“かしわっ子”たちが，未来に向かっていきいきと過ごすことができる魅力的な学校づくりを推進します。	本教育政策審議会では，これらの社会情勢の大きな変化と学校を取り巻く現状を踏まえ，市立小学校，中学校，高等学校で育つ“かしわっ子”たちが，未来に向かっていきいきと過ごすことができる魅力的な学校づくりを推進していく必要があると考えます。	【委員意見反映】 審議会の答申として適切な表現に修正
本編	1	P1	そのため，「誰一人取り残さずに多様な個人，社会のウェルビーイング(注)を実現する学校づくり」を進め，『よりよい教育環境の確保』と『教育の質の向上』を目指して，「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針（以下「本方針」という。）」を策定することとしました。	そのため，本市教育委員会からの諮問を受け，「誰一人取り残さずに多様な個人，社会のウェルビーイング(注)を実現する学校づくり」を進め，『よりよい教育環境の確保』と『教育の質の向上』を目指して，「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針（以下「本方針」という。）」を策定すべく，本市教育委員会からの諮問を受け，本答申を取りまとめることとしました。	【委員意見反映】 市教育委員会からの諮問を受けて審議会で審議していることがわかる表現に修正
本編	1	P2	基本方針と他の関係計画等との関係性がわかるように図表1-1を修正		
本編	2	P3	人口減少・産業構造の変化	人口減少・社会構造の変化	学校教育との関連性として示す内容に合わせて修正

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）
本編	2	P3	柏市においても、現在は人口増加傾向にあるものの、2035年をピークに将来的には人口減少が見込まれています。 また、柏市産業構造分析調査から、製造業における稼ぐ力や効率性は全国水準より低く、市内中小事業者を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあるとされており、時代の変化に適応した産業振興の形が求められています。 さらに、AIやロボットの発達により、特定の職種では雇用が減少し、今後は問題発見力や的確な予測、革新性といった能力が一層求められることが予測されており、労働市場のあり方や働く人に必要とされるスキルが今後変容していくことが見通されるなど、将来の予測が困難な時代を見据えた学校教育のあり方が問われています。	<u>一方、柏市においては、今後しばらくは人口が増加する傾向にあるものの、令和17（2035）年をピークに将来的には減少することが見込まれており、0～14歳までの年少人口については、令和7（2025）年にはピークを迎え、その後は減少に転じる見込みです。</u> <u>また、市制施行当初には5万人弱の人口であった柏市は、本年70周年を迎え43万人を超えるまでに着実に発展してきましたが、今後の人口減少や少子高齢化の加速といった様々な社会情勢の変化を受け、右肩上がりの時代における拡大基調を前提とした成長サイクルは限界を迎えようとしており、まちづくりの考え方を一つ一つ見直し、限られた経営資源の効果的な活用等もより一層積極的に進めることが求められています。</u> <u>このような様々な社会の課題や変化に対応するためには、子ども達の変化を前向きに受け止め、予測困難な時代をたくましく生き抜く力やスキルを身に付けることができるよう、将来を見据えた学校教育のあり方が問われています。</u>	【委員意見反映】 人口減少や街の発展について柏市の状況を追記

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）
本編	3	P6	「よりよい自分 よりよい“かしわ”」という言葉には、柏だけではなく、地域や社会を含めた大きな意味合いを込めています。さらに、柏が子どもたちにとって身近な社会であるとともに、地域との関わりを通じて成長してほしい、という願いから、“かしわ”という言葉を入れました。	また、「よりよい“かしわ”」という言葉には、柏だけではなく、地域や社会を含めた大きな意味合いを込めています。 <u>創造的で居心地のよい社会の形成に向けて主体的に参画できるように、子どもたちには、地域との関わりを通じて成長してほしい、との願いから、子どもたちにとって身近な社会である“かしわ”という言葉を入れました。</u>	第六次総合計画における文言を引用し、「よりよい“かしわ”」の内容を具体化
本編	2	P7	義務教育9年間で捉え、連続性・系統性を確保した学びを実践します。	義務教育9年間で捉え、連続性・系統性を確保した学びを実践するとともに、 <u>幼保こ小の連携と・中高の連携を強化し、学びの接続期において滑らかなつながりを目指します。</u>	【委員意見反映】 小中学校のつながりだけでなく、その前段階の幼保こ、その後段階の高校との連携の必要性を追記
本編	3	P9	さらに、幼児期の学び方を小学校低学年に応用することで、小学校との滑らかな接続を実現させます。	さらに、幼児期の学び方を小学校低学年に応用することで、小学校との滑らかな接続を実現させるとともに、 <u>中学校・高等学校間でも連携を図り、学びの連続性を充実させていきます。</u>	
本編	3	P10	「Rugby School Japan」や柏市国際交流会「KIRA」との交流を計画	<u>インターナショナルスクールなどの教育機関や</u> 柏市国際交流会「KIRA」との交流を計画	

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）
本編	3	P10	—	また、 <u>気候変動、貧困の拡大等の様々な現代社会の問題を主体的に捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力を身に付けた「持続可能な社会の創り手」の育成が求められています。地球規模で考え、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことで、持続可能な開発のための教育（ESD）の充実が進められています。</u>	【委員意見反映】 持続可能な世界とつながる視点の必要性について追記
本編	3	P11	—	また、 <u>グローバルな視点を持ち国際社会で活躍するために、まず自国の文化や価値観を深く理解することを大切にし、日本人としての誇りを持ちながら世界とつながる人材の育成を図ります。</u>	【委員意見反映】 グローバルな視点だけでなく、自国を知り誇りを持つ大切さについて追記
本編	3	P11	—	また、 <u>持続可能な社会の実現を目指して、次世代につなぐESDの推進を図ります。</u>	【委員意見反映】 持続可能な世界とつながる視点の必要性について追記
本編	3	P11	「Rugby School Japan」 柏市国際交流会「KIRA」	インターナショナルスクール 市民公益活動団体	個別具体の教育機関や団体だけでなく、広く交流を図っていくと読むことができる表現に修正
本編	3	P12	子ども同士や多様な他者と協働しながら学習する「協働的な学び」と、自己調整しながら学習する「個別最適な学び」を一体的に充実させる必要があります。	<u>自己調整しながら学習する「個別最適な学び」と、子ども同士や多様な他者と協働しながら学習する「協働的な学び」</u> を一体的に充実させる必要があります。	タイトルに合わせて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の記載順を入れ替え

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）
本編	3	P13	個別の教育的ニーズのある児童生徒に対して、自立と社会参加に向けて、通常の学級、通級指導教室(注)、特別支援学級(注)、特別支援学校(注)といった連続性のある多様な学びの場での教育を充実させます。	個別の教育的ニーズのある児童生徒に対して、自立と社会参加に向けて、 <u>福祉・医療との連携・協力を図りながら</u> 、通常の学級、通級指導教室(注)、特別支援学級(注)、特別支援学校(注)といった連続性のある多様な学びの場での教育を充実させます。	【委員意見反映】 学校以外の関係機関との連携の必要性を追記
本編	3	P13	【具体的取組】 ●略 ●略 ●教育支援員、個別支援員の更なる拡充と、	【具体的取組】 ●略 ●略 ●教育支援員、個別支援員 <u>（特別支援）</u> の更なる拡充と、	具体的な職種がわかるように追記
本編	3	P14	「授業」の改善や、いじめ等の問題行動に対して毅然とした対応を徹底するなど「みんなが安心して学べる学校」を創生していくこと、また、社会的自立につながるよう、適切な支援や働き掛けを行います。	「授業」の改善や、いじめ等の問題行動に対して毅然とした対応を徹底するなど「みんなが安心して学べる学校」を創生していくこと、また、社会的自立につながるよう、 <u>地域や関係機関とも連携しながら</u> 適切な支援や働き掛けを行います。	【委員意見反映】 地域や関係機関との連携の必要性について追記
本編	3	P14	成長に従って異なる学校種（幼稚園、保育園、小学校、中学校など）に進学する際に、	成長に従って異なる学校種 <u>等</u> （幼稚園、保育園、 <u>こども園</u> 、小学校、中学校など）に進学する際に、	「幼保こ小の連携」を踏まえ、幼稚園、保育園とともに「こども園」を追記
本編	3	P14	【具体的取組】 ●略 ●小中連携による、個別支援教員 の中学校区での巡回支援	【具体的取組】 ●略 ●小中連携による、個別支援教員 <u>（生徒指導・不登校支援）</u> の中学校区での巡回支援	具体的な職種がわかるように追記

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）
本編	3	P15	—	文部科学省は、平成29(2017)3月に「いじめ防止対策推進法」及び「いじめの防止等のための基本的な方針」等に則った「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」を策定しましたが、全国的にいじめ重大事態の発生件数は増加傾向となり、児童生徒に深刻な被害を与える事態が発生している状況です。 そのことを受け、文部科学省では、取組の一層の強化を図るため、令和6(2024)年8月に「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」の改訂を行いました。 ガイドラインの改訂を受け、学校いじめ対策組織が校内のいじめ対応にあたって、重大事態の発生を防ぐための未然防止に努めることや、重大事態が発生した際には、学校と関係機関が連携して対応にあたること、その他、法の要件に照らして重大事態に当たらないことが明らかである場合を除き、重大事態調査を実施すること等が改めて求められています。	いじめに関する現状や課題について追記

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）
本編	3	P15	本市では対面や電話での相談のほか、インターネットを通じた相談窓口を設置しており、学校の教育相談担当職員だけでなく、スクールカウンセラーや教育支援センターなど様々な関係者・関係機関が連携し、教育相談体制の充実を図っています。 本市のいじめの認知件数は、小・中学校ともに増加傾向にありますが、認知件数に対する解消率は大幅に改善していることが追跡調査の結果から判明しています。 年3回「柏市いじめの状況調査」を実施しており、令和5年(2023)3月には解消率が7割程度だったものが、同年12月には解消率が9割以上となり高い解消率となっています。	本市のいじめの認知件数は、小・中学校ともに増加傾向(注)にありますが、認知件数に対する解消率は大幅に改善していることが追跡調査の結果から判明しています。 年3回「柏市いじめの状況調査」を実施しており、令和5年(2023)3月には解消率が7割程度だったものが、同年12月には解消率が9割以上となり高い解消率となっています。 本市では対面や電話での相談のほか、インターネットを通じた相談窓口を設置しており、学校の教育相談担当職員だけでなく、スクールカウンセラーや教育支援センターなど様々な関係者・関係機関が連携し、教育相談体制の充実を図っています。	記載順序の入替
本編	3	P15	学校の諸問題における未然防止や早期発見・早期解決を図るため、学校と保護者、関係機関、地域との連携体制を強化します。	学校の諸問題における未然防止や早期発見・早期解決を図るため、学校と保護者、 <u>児童相談所や警察等の関係機関</u> 、地域との連携体制を強化します。	関係機関の具体について追記
本編	3	P15	—	<u>また、いじめ対応にあたっては、詳細な事実関係の確認、実効性のある再発防止策の検討、さらには学校だけでは対応がしきれない場合は警察等の関係機関と連携して対応を図ります。</u>	いじめに関する対応の方向性について追記
本編	3	P16	—	<u>図表3-1 生徒指導の諸課題の未然防止・早期発見のためのデジタルコンテンツ</u>	説明資料追加

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）
本編	3	P19	【具体的取組】 ●地域学校協働活動の推進・充実化・質の向上	【具体的取組】 ●<u>地域の資源を生かした、</u>地域学校協働活動の推進・充実化・質の向上	具体の内容を追記
本編	3	P19	また、地域と連携することで、地域の将来を支える人材を地域全体で育てる意識を醸成します。	また、地域と連携することで、地域の将来を支える人材を地域全体で育てる意識を醸成するとともに、<u>市内中学校とも連携し、学びの連続性を大切にします。</u>	【委員意見反映】 高等学校への接続・つながりに関する内容を追記
本編	3	P19	施設面の維持管理（施設等の実態把握及び整備計画の見直し）や新たな整備（食堂・売店の設置，スクールバスの導入，照明のLED化等）	施設面の維持管理（施設等の実態把握及び整備計画の見直し）や新たな取組（<u>昼食提供機能の充実</u>，スクールバスの導入，照明のLED化等）	個別の取組だけでなく，幅広く捉えることができる表現に修正
本編	3	P20	支援員等の人材確保や外部委託，休日の部活動の地域移行等により，教職員が担う業務の明確化を図ります。	支援員等の人材確保や外部委託，<u>家庭・地域住民との連携や協働</u>，休日の部活動の地域移行等により，教職員が担う業務の明確化を図ります。	家庭や地域住民との連携・協働の必要性を追記
本編	3	P20	【具体的取組】 ●略 ●部活動の地域移行の推進，地域学校協働活動の推進，外部委託やボランティアの登用	【具体的取組】 ●略 ●部活動の地域移行の推進，地域学校協働活動の推進，外部委託（<u>学校用務，施設管理等</u>）やボランティアの登用	具体的な外部委託の例を追記

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）
本編	3	P22	本市の児童生徒数は、昭和59（1983）年度の5万970人をピークに減少しており、令和6（2024）年度は3万2,419人と、ピーク時から40年で約36.4%減少しています。今後数年間は横ばいで推移し、令和8（2026）年度以降、再び減少に転じる予測となっており、40年後の令和46（2064）年度には現在の3分の2強(68.5%)にあたる2万2,222人にまで減少すると予測されています。地域や学校による差はありますが、全体として小・中学校ともに、クラス替えができない学校等の比較的規模の小さな学校が将来にわたり増加する見込みです。	本市の児童生徒数は、昭和59（1983）年度の5万970人をピークに減少しており、<u>ここ20年程度はやや増加傾向にあるものの、</u>令和6（2024）年度は3万2,419人と、ピーク時から40年で約36.4%減少しています。今後数年間は横ばいで推移し、令和8（2026）年度以降、再び減少に転じる予測となっており、<u>10年後の令和16（2034）年度には3万581人、</u>40年後の令和46（2064）年度には現在の3分の2強(68.5%)にあたる2万2,222人にまで減少すると予測されています。地域や学校による差はありますが、全体として小・中学校ともに、クラス替えができない学校等の比較的規模の小さな学校が増加する見込みです。	【委員意見反映】 児童生徒数の推移について、より詳細な内容を追記

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）
本編	3	P22,23	<u>②</u>一定の集団規模を確保する学校づくりを推進する 将来の学校のあり方を検討するにあたっては、学校生活を通じて子どもたちが社会で生き抜く力を身に付けることができるよう、一定の集団規模を確保したよりよい学校づくりを推進します。1学年に1学級しかない学年が多い、いわゆる単学級校については、クラス替えができません(注44)、人間関係や子どもたち同士の相互評価が固定化しやすい等の課題があることを踏まえ、義務教育学校の設置を含めた学校の統合等により解消を図ります。	<u>②</u>一定の集団規模を確保する学校づくりの推進 <u>以下のとおり将来の学校づくりを推進します。</u> <u>ア「子どもの教育環境が最優先」の視点に立ち、学校生活を通じて子どもたちが社会で生き抜く力を身に付けることができるよう、一定の集団規模を確保したよりよい学校づくりを推進します。</u> <u>イ 1学年に1学級しかない学年が多い、いわゆる単学級校については、クラス替えができません(注)、人間関係や子どもたち同士の相互評価が固定化しやすい等の課題があることを踏まえ、義務教育学校の設置を含めた学校の統合等により解消を図ります。</u> <u>ウ 義務教育9年間をトータルに捉え、連続性や継続性を確保した多様な教育的支援を実践することに加え、通学距離や地域コミュニティとの関係性に配慮し、中学校区を基本とした学校づくりを進めます。</u> <u>エ 全ての児童生徒に安全な教育環境を提供する必要性から、施設の老朽化状況を踏まえた学校づくりを推進します。</u>	表現修正 「将来の学校づくりの基本的な考え方」について、重複していた内容を統合し整理
本編	3	P23～26	具体の取組を進めるに当たっての諸事項を整理し、項目ごとに枠組み		

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）
本編	3	P28	一方で、市の南部や東部など、地域によっては学級数の減少等により教室数に余裕が生じていることから、地域コミュニティとの共存 など、学校施設の有効活用を求められています。	一方で、市の南部や東部など、地域によっては学級数の減少等により教室数に余裕が生じていることから、地域コミュニティとの共存 <u>や避難所等の防災拠点としての役割</u> など、学校施設の有効活用を求められています。	【委員意見反映】 災害時の避難所機能について追記
本編	4	P31	将来にわたり魅力ある学校づくりを推進し、よりよい教育環境の確保と教育の質の向上を図っていくためには、本方針について、柏市教育委員会だけでなく、児童生徒、保護者、学校教職員、地域住民、その他の学校関係者に広く知ってもらう必要があります。	将来にわたり魅力ある学校づくりを推進し、よりよい教育環境の確保と教育の質の向上を図っていくためには、本方針について、柏市教育委員会だけでなく、児童生徒、保護者、学校教職員、地域住民、 <u>学校運営協議会委員、</u> その他の学校関係者に広く知ってもらう必要があります。	【委員意見反映】 学校関係者の具体として、学校運営協議会委員を追記
本編	4	P38	本方針の策定にあたっては、令和5、6年度の2カ年にわたり、合計9回の柏市教育政策審議会を開催し、柏市の子どもたちにとってのよりよい教育環境と教育の質の向上へ向けて、不登校や特別支援教育等の教育課題とあわせて、望ましい学校の規模や通学距離、教職員の働き方等、幅広く審議を行いました。	<u>本教育政策審議会では、本方針の策定にあたり、</u> 令和5、6年度の2カ年にわたり、合計9回の <u>会議</u> を開催し、柏市の子どもたちにとってのよりよい教育環境の <u>確保</u> と教育の質の向上へ向けて、不登校や特別支援教育等の教育課題とあわせて、望ましい学校の規模や通学距離、教職員の働き方等、幅広く審議を行いました。	【委員意見反映】 審議会の答申として適切な表現に修正

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）
本編	4	P32	柏市教育委員会では、本方針に基づき、これまで以上に学校現場と協力・連携を密に図りながら取り組んでまいりますが、子どもたちの健やかな学びを育むためには、保護者をはじめとした市民の皆様の理解が不可欠です。より多くの市民の皆様に本方針をご覧いただき、本方針の実現にご協力いただきたいと思います。	<u>本答申を踏まえた方針の実現に向け、本市教育委員会をはじめ、学校、保護者、地域、各関係機関が連携し、取組が推進されることを期待します。</u> <u>また、本答申の内容を広く市民の皆様にご覧いただき、本方針の実現にご協力いただきたいと願っています。</u>	【委員意見反映】 審議会の答申として適切な表現に修正

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）																																																																														
資料編	2(1)	P2	○審議会委員名簿（◎：委員長，○：副委員長）（令和7年2月18日現在） <table><thead><tr><th>番号</th><th>区分</th><th>氏名</th><th>職等</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td rowspan="5">市立学校長</td><td>なかつ あつこ 中田 敦子</td><td>柏市立柏第三小学校長</td></tr><tr><td>2</td><td>いとう きみこ 伊藤 喜美子</td><td>柏市立風早南小学校長</td></tr><tr><td>3</td><td>ふじさき ひであき 藤崎 英明</td><td>柏市立柏第三中学校長</td></tr><tr><td>4</td><td>かわもと とおる 川本 徹</td><td>柏市立中原中学校長</td></tr><tr><td>5</td><td>えんどう ひでひろ 遠藤 英宏</td><td>柏市立柏高等学校長</td></tr><tr><td colspan="4">：</td></tr><tr><td>10</td><td rowspan="2">学識経験者</td><td>あまがき しげる 天笠 茂</td><td>千葉大学名誉教授</td></tr><tr><td>11</td><td>てらもと たまこ 寺本 妙子</td><td>開智国際大学教授</td></tr><tr><td colspan="4">：</td></tr><tr><td>15</td><td></td><td>あべ たかし 阿部 孝</td><td>柏市ふるさと協議会連合会長</td></tr></tbody></table> ※上記のほか、平野秀樹委員（令和5年度田中北小学校長）が令和6年3月31日まで委員を務めた	番号	区分	氏名	職等	1	市立学校長	なかつ あつこ 中田 敦子	柏市立柏第三小学校長	2	いとう きみこ 伊藤 喜美子	柏市立風早南小学校長	3	ふじさき ひであき 藤崎 英明	柏市立柏第三中学校長	4	かわもと とおる 川本 徹	柏市立中原中学校長	5	えんどう ひでひろ 遠藤 英宏	柏市立柏高等学校長	：				10	学識経験者	あまがき しげる 天笠 茂	千葉大学名誉教授	11	てらもと たまこ 寺本 妙子	開智国際大学教授	：				15		あべ たかし 阿部 孝	柏市ふるさと協議会連合会長	○審議会委員名簿（◎：会長，○：副会長）（令和7年2月18日現在） <table><thead><tr><th>番号</th><th>区分</th><th>氏名</th><th>職等</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td rowspan="5">市立学校長</td><td>なかつ あつこ 中田 敦子</td><td>柏市立柏第三小学校長</td></tr><tr><td>2</td><td>いとう きみこ 伊藤 喜美子</td><td>柏市立風早南小学校長</td></tr><tr><td>3</td><td>ふじさき ひであき 藤崎 英明</td><td>柏市立柏第三中学校長</td></tr><tr><td>4</td><td>かわもと とおる 川本 徹</td><td>柏市立中原中学校長</td></tr><tr><td>5</td><td>えんどう ひでひろ 遠藤 英宏</td><td>柏市立柏高等学校長</td></tr><tr><td colspan="4">：</td></tr><tr><td>10</td><td rowspan="2">学識経験者</td><td>あまがき しげる ◎天笠 茂</td><td>千葉大学名誉教授</td></tr><tr><td>11</td><td>てらもと たまこ ○寺本 妙子</td><td>開智国際大学教授</td></tr><tr><td colspan="4">：</td></tr><tr><td>15</td><td></td><td>あべ たかし 阿部 孝</td><td>柏市ふるさと協議会連合会長</td></tr></tbody></table> ※上記のほか、平野秀樹委員（令和5年度田中北小学校長）が令和6年3月31日まで委員を務めた	番号	区分	氏名	職等	1	市立学校長	なかつ あつこ 中田 敦子	柏市立柏第三小学校長	2	いとう きみこ 伊藤 喜美子	柏市立風早南小学校長	3	ふじさき ひであき 藤崎 英明	柏市立柏第三中学校長	4	かわもと とおる 川本 徹	柏市立中原中学校長	5	えんどう ひでひろ 遠藤 英宏	柏市立柏高等学校長	：				10	学識経験者	あまがき しげる ◎天笠 茂	千葉大学名誉教授	11	てらもと たまこ ○寺本 妙子	開智国際大学教授	：				15		あべ たかし 阿部 孝	柏市ふるさと協議会連合会長	表現修正 会長・副会長の印を追記 委員氏名にふりがなを追記
			番号	区分	氏名	職等																																																																													
1	市立学校長	なかつ あつこ 中田 敦子	柏市立柏第三小学校長																																																																																
2		いとう きみこ 伊藤 喜美子	柏市立風早南小学校長																																																																																
3		ふじさき ひであき 藤崎 英明	柏市立柏第三中学校長																																																																																
4		かわもと とおる 川本 徹	柏市立中原中学校長																																																																																
5		えんどう ひでひろ 遠藤 英宏	柏市立柏高等学校長																																																																																
：																																																																																			
10	学識経験者	あまがき しげる 天笠 茂	千葉大学名誉教授																																																																																
11		てらもと たまこ 寺本 妙子	開智国際大学教授																																																																																
：																																																																																			
15		あべ たかし 阿部 孝	柏市ふるさと協議会連合会長																																																																																
番号	区分	氏名	職等																																																																																
1	市立学校長	なかつ あつこ 中田 敦子	柏市立柏第三小学校長																																																																																
2		いとう きみこ 伊藤 喜美子	柏市立風早南小学校長																																																																																
3		ふじさき ひであき 藤崎 英明	柏市立柏第三中学校長																																																																																
4		かわもと とおる 川本 徹	柏市立中原中学校長																																																																																
5		えんどう ひでひろ 遠藤 英宏	柏市立柏高等学校長																																																																																
：																																																																																			
10	学識経験者	あまがき しげる ◎天笠 茂	千葉大学名誉教授																																																																																
11		てらもと たまこ ○寺本 妙子	開智国際大学教授																																																																																
：																																																																																			
15		あべ たかし 阿部 孝	柏市ふるさと協議会連合会長																																																																																
資料編	2(2)	P4	③提出意見の内容 パブリックコメントで提出された意見の内容と、それに対する柏市教育委員会の考え方は、次のとおりです。 <総括表> <table><thead><tr><th>区分</th><th>意見の考慮の結果</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>意見を踏まえ、反映したもの</td><td>●</td></tr><tr><td>B</td><td>意見の趣旨が、既に反映されているもの</td><td>●</td></tr><tr><td>C</td><td>今後の検討のために参考とするもの、 または、関係部門計画等への反映を検討するもの</td><td>●</td></tr><tr><td>D</td><td>その他（今後の検討のために参考とするものや質問等）</td><td>●</td></tr></tbody></table>	区分	意見の考慮の結果	件数	A	意見を踏まえ、反映したもの	●	B	意見の趣旨が、既に反映されているもの	●	C	今後の検討のために参考とするもの、 または、関係部門計画等への反映を検討するもの	●	D	その他（今後の検討のために参考とするものや質問等）	●	③提出意見の内容 パブリックコメントで提出された意見の内容と、それに対する柏市教育委員会の考え方は、次のとおりです。 <総括表> <table><thead><tr><th>区分</th><th>意見の考慮の結果</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>意見を踏まえ、反映したもの</td><td>●</td></tr><tr><td>B</td><td><u>個別の事業・施策の推進に活用するもの</u></td><td>●</td></tr><tr><td>C</td><td>今後の検討のために参考とするもの、 または、関係部門計画等への反映を検討するもの</td><td>●</td></tr><tr><td>D</td><td>その他（意見として聴取したもの）</td><td>●</td></tr></tbody></table>	区分	意見の考慮の結果	件数	A	意見を踏まえ、反映したもの	●	B	<u>個別の事業・施策の推進に活用するもの</u>	●	C	今後の検討のために参考とするもの、 または、関係部門計画等への反映を検討するもの	●	D	その他（意見として聴取したもの）	●	パブリックコメントにおける 意見反映に関する区分を修正																																																
			区分	意見の考慮の結果	件数																																																																														
A	意見を踏まえ、反映したもの	●																																																																																	
B	意見の趣旨が、既に反映されているもの	●																																																																																	
C	今後の検討のために参考とするもの、 または、関係部門計画等への反映を検討するもの	●																																																																																	
D	その他（今後の検討のために参考とするものや質問等）	●																																																																																	
区分	意見の考慮の結果	件数																																																																																	
A	意見を踏まえ、反映したもの	●																																																																																	
B	<u>個別の事業・施策の推進に活用するもの</u>	●																																																																																	
C	今後の検討のために参考とするもの、 または、関係部門計画等への反映を検討するもの	●																																																																																	
D	その他（意見として聴取したもの）	●																																																																																	

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）
資料編	3(2)	P18	中学校の学校規模について、全学年1学級の単学級校，1学年1～4クラスとなる小規模校，1学年4～6クラスとなる適正規模校，1学年単学級以上となる大規模校に分類すると、令和6（2024）年現在，本市の中学校は適正規模校が71.4％を占めていますが，10年後には小規模校が大幅に増加して全体の半数を上回り，30年後には小学校より高い全体の7割（71.5％）が小規模校化となる予測となっています。	中学校の学校規模について、全学年1学級の単学級校，1学年1～4クラスとなる小規模校，<u>1学年4～8クラス</u>となる適正規模校，<u>それ以上のクラス数</u>となる大規模校に分類すると，令和6（2024）年<u>度</u>現在，本市の中学校は適正規模校が71.4％を占めていますが，10年後には小規模校が大幅に増加して全体の半数を上回り，30年後には小学校より高い全体の7割（71.5％）が小規模校化となる予測となっています。	適正規模校における学級数の上限を修正 ※図表 資-14の凡例に記載している総児童生徒数÷35人(1学級あたりの上限)÷3学年で算出
資料編	3(4)		地域カルテに詳細な通学区域図を示しているため，「図表 資-25 柏市立小中学校通学区域図」は削除 これに伴い，以降の図表番号を修正		
資料編	3(5)	P34	夜間中学に関する資料「図表 資-36 全国の夜間中学の設置・検討状況と自主夜間中学」を追加		
資料編	3(5)	P35	「図表 資-37 こどもルームの入所児童数の推移」の令和6年度データを追加		

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）								
資料編	3(5)	P37	本市には、知的障害特別支援学級と自閉症・情緒障害特別支援学級があり、それぞれ小学校、中学校に設置されています。また、柏第三小学校には聴覚障害特別支援学級が設置されています。 学びの環境として、少人数の学級で一人一人の課題に応じた指導を日常的に行う「特別支援学級」と、通常の学級に在籍する障害のある児童生徒に、個々の課題に応じた指導を行う「通級指導教室」があります。 本市の特別支援学級在籍児童生徒数は、全国の傾向と同様増加しており、平成21（2009）年度が350人であったのに対し、令和6（2024）年度が1,286人となっており、14年間で約3.3倍増加しています。 <table><caption>図表 資-40 特別支援学級の設置状況</caption><tr><th>種別</th><th>設置校（R6年度）</th></tr><tr><td>知的障害特別支援学級</td><td>富勢東小、手賀東小を除く小・中学校</td></tr><tr><td>自閉症・情緒障害特別支援学級</td><td>土中、南部中を除く小・中学校</td></tr><tr><td>聴覚障害特別支援学級</td><td>柏第三小学校</td></tr></table>	種別	設置校（R6年度）	知的障害特別支援学級	富勢東小、手賀東小を除く小・中学校	自閉症・情緒障害特別支援学級	土中、南部中を除く小・中学校	聴覚障害特別支援学級	柏第三小学校	<u>本市では、小学校40校、中学校21校に知的障害特別支援学級を、小学校42校、中学校19校に自閉症・情緒障害特別支援学級を、柏第三小学校に聴覚障害特別支援学級を設置しています。</u> <u>本市の特別支援学級の在籍児童生徒数は、全国と同様に増加傾向となっています。</u>	用語の説明は注釈にすることとし、読みやすい表現に修正。また、図表は文面で説明していることから削除
種別	設置校（R6年度）												
知的障害特別支援学級	富勢東小、手賀東小を除く小・中学校												
自閉症・情緒障害特別支援学級	土中、南部中を除く小・中学校												
聴覚障害特別支援学級	柏第三小学校												
資料編	3(5)	P37	「図表 資-41特別支援学級の児童生徒数・学級数の推移」は「図表 資-42特別支援学級の在籍児童生徒数の推移」と内容が重複するため、削除。 図表 資-42においては、聴覚障害特別支援学級の在籍数を含んだ最新値に更新。										

資料名	章等	ページ	修正前	修正後	備考（修正理由等）
資料編	3(5)	P37	—	<u>この他に、特別支援学校における通級による指導（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由）も実施しています。</u> <u>本市の通級による指導を受けている児童生徒数は全国と同様、増加しております。</u>	特別支援学校における通級による指導に係る説明文を追加
資料編	3(5)	P37	「図表 資-41 通級指導教室の実施状況」に、きこえの教室、情緒の教室の設置校の情報を追加した		
資料編	3(5)	P38	ウ 通級指導教室の利用状況 通級指導教室に通う児童生徒数は、平成28（2016）年度が220人に対し、令和6（2024）年度が316人と8年間で約1.4倍の増加傾向になっています。教室数については、平成28（2016）年度が12室に対し、令和6（2024）年度には20室と約1.7倍以上になっています。	—	「図表 資-45 通級指導教室数と児童生徒数の推移」にて詳細が記載されているため、説明文は削除
資料編	3(5)	P42	「⑧学力・学習状況 1）柏市学力・学習状況調査の結果について（教科）」の文章中の読点を「、」から「，」に修正		
資料編	3(5)	P45	「図表 資-57 小中一貫教育における乗り入れ授業の児童感想」を削除		
資料編	3(5)	P45	文部科学省の示すCERFの指標を分かりやすくするため「図表 資-57 各試験団体のデータによるCEFRとの対照」を追加		
カルテ	全体	全体	コミュニティスクールの設置状況（設置時期、R6年時点の委員数）を追加		
カルテ	全体	全体	児童生徒数、住所、敷地面積、延床面積、各校の教育目標について、誤りを修正		
カルテ	全体	全体	「配置状況・地域状況・学区状況」から、最長通学距離と通学距離と通学路を削除		
カルテ	5	田中中学校区	市立柏高等学校の詳細について追加		